

うまる。8:15源頭。水源は、岩屑の下からしみ出てくる湧き水であった。このあと、急峻な斜面を登って尾根に出る。 (1)

[タイム] 八溝川遡行開始(6:30)→左俣出合(7:05)→右俣出合(7:15)→中俣終了(8:15)

八溝川源流左俣 1990年10月27日

9:55左俣の遡行開始。左俣は出だしがちょっとした廊下状となり、ナメと1m程の小滝が2つかかる。しかしここを過ぎるとあとは平凡。それでも小滝3つを越えて、源頭に出る。水源は岩屑の下からしみ出る湧き水であった。

(新)

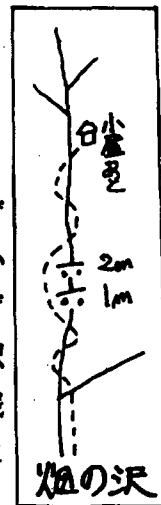
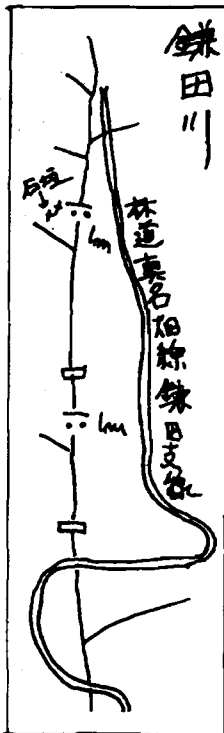
[タイム] 左俣出合(9:55)→左俣遡行終了(10:20)

八溝川支流畑の沢 1990年8月12日

畑の沢林道終点からのびる踏跡が沢に入った所から遡行開始。ずっと林の中を流れる平凡な沢で、小滝が2つかかるだけ。沢ぞいには刈り払いされた踏跡がずっと続いている。水はきれいでおいしいが、沢が平凡なのが悔しい。30分程で骨組みだけが残っている小屋跡へ。刈り払いされた踏跡はここで終わっていた。

小屋跡を過ぎると、沢は細いミゾ状となってきた。そしてヤブが茂ってくる。この先何もないだろうと見込みをつけて、9:10遡行終了とする。

[タイム] 畑の沢林道起点(8:00)→林道終点(8:30)→小屋跡(9:00)→遡行終了(9:10)



鎌田川 1990年10月27日

真名畑林道鎌田支線が鎌田川を離れてゆく地点から沢に入る。11:50遡行開始。この地点ではもう沢も細く、水量も少なく、源流に近い状態である。この沢も花崗岩帯でなく、岩屑がゴロゴロしている棚倉破砕帯を流れている。遡行を始めた地点の状態から、滝は期待できないと感じていたが、案の定1mの小滝2つを見るだけに終わってしまった。30分程遡ると、左岸に再び林道が出てきた。そして沢はもう細々とした流れとなってしまった。遡行終了12:20。(記・

[タイム] 遡行開始(11:50)→遡行終了(12:20)

大戸岳周辺の沢

城入沢右支流

1990年7月8日

L5

前夜福島より車を飛ばして下郷町へ。車1台を寺沢の出合近くに止めたあと、付け替えになった旧国道上で仮眠。

城入沢ぞいには林道が入っている。白松沢出合付近の退避所に車を置き、歩き始める。林道は、地図の記載よりだいぶ奥まで延びているようで、今日入る予定の右支流出合を越えて、更に奥へと延びていた。

7:35出合。水量比は2:1。沢は比較的平坦で、木漏れ日が差し込み、広く明るい感じである。所々ナメも現われ、きれいな沢である。左岸より水量は少ないものの支沢が多数かかり、ナメ状であったり広く侵食されたりしている。地図と対照してみたが、どれだか特定することは難しい。

